

中海 エコ活動 レポート

中海の環境保全活動と
ワズユースを紹介します

第21号
平成29年12月



軽トラック1台分刈りました

未来のリケジョが藻刈り体験



海に落ちないように気をつけながら藻を刈る

未来の理系女子たちが中海の藻刈りを体験する事業が、8月9日に江島港で行われました。

島根大学が理系女子を増やす取組として企画した「しまねガールズサイエンスプロジェクト」の一環で認定NPO法人自然再生センターと共催したもので、女子中高生を中心に約30名が参加しました。

参加者は船に乗り込み、長さ約3.5mの「オゴカギ」という道具でバランスをとりながらオゴノリを刈り取り、土壌改良材として畑に肥料とともにすき込みました。

自然再生センターでは、藻刈りを通じて多くの人が中海に親しみ水質浄化や利活用に関心にもってもらおうよう、今後も様々な人たちに体験事業を続けていきます。



サツマイモ畑にすきこむ

■お問合せ

認定NPO法人自然再生センター
〒690-0064 松江市天神町114
電話 (0852) 21-4882

まちなみや中海の景観、 魅力を再発見

暑さが落ち着いた9月の昼下がりに、加茂川と中海の歴史や自然を学び景観を楽しむ「米子加茂川・中海遊覧船」に乗船しました。

天神橋付近の乗船場所では、かっぱ像が川を見守っています。

ところどころ低い橋に頭をかがめながら、白壁土蔵や重要文化財の後藤家住宅などを通過しました。



乗船場所（天神町1丁目）

身近なためか普段じっくり見たことがない景色ですが、意匠をこらした石垣や京橋の欄干などの街並みは趣があり、城下町の名残がうかがえます。

米子港を出ると中海が広がり、風や潮の香りを感じながら米子の街を一望できました。



加茂川沿いの街並み

中海に浮かぶ萱島（かやしま）は昭和10年まで高級料亭があり、接待の場として裕福な人々で賑わっていたそうです。今はサギなどの野鳥の繁殖場所として賑わい、沢山の鳥が生活している姿は船でなければ見ることができない景色です。

艇庫の沖あたりから加茂川の河口に近づくと、中海、大山、米子城跡を一枚の絵のように見るこ



萱島

とができます。

真っ赤な深浦橋をくぐって加茂川の河口に入り、復路につきました。

船頭の住田さんは、加茂川沿いの昔ながらの街並みや文化財、中海の景観などの良さを知ってもらい米子に活気を取り戻したいという気持ちで、平成15年から運行を始めました。



中海から見る大山

それまではゴミだらけで、自転車や家電製品まで捨てられ、底にはヘドロも沢山ありスムーズな運行が困難でしたが、1年かけて取り除き運行できるようになりました。

「ないものを求めるのではなく、加茂川や中海を活用し、観光や地域振興につなげたい」と住田さん。

みなさんも遊覧船でまちの良さを再発見してみませんか。

■お問合せ

米子市観光案内所

電話0859-22-6317

船頭・住田

電話090-6837-2731

スポーツで中海に親しむ

アウトドアスポーツを通じて中海に親しむイベント「アウトドアスポーツフェスタ・海のステージ」が9月3日に湊山公園で行われ、晴天の中約170人が参加しました。

「競技で訪れた他の湖は、中海より透明度が高いところが沢山ある。中海がもっときれいになって、色々な人にマリンスポーツを楽しんでもらえ

バナナボートにまたがって



○●○●○●アウトドアスポーツフェスタ開催○●○●○●



ヨットで優雅に周遊

れば」と、主催者の一人のNPO米子ボート協会の長谷川さん。

バナナボートのコーナーでは、子どもたちが水上バイクに誘引されながら、気持ち良さそうに湖水や風の流れを楽しんでいました。

そのほか、参加者はボートやヨットなど、本格的なスポーツを通じて中海に親しみました。

■問合せ

NPO法人米子ボート協会事務局

〒683-0845 米子市旗ヶ崎7-1-29

有限会社エージェンツ 気付 長谷川

電話 0859-24-8020

学ぶ仲間を募集します

金木犀の会は、ことぶき学園（鳥取県高齢者大学校）環境コース平成21年度学習の延長として始まり、現在15名の会員が中海の環境保全活動などを行っています。

名称は、会員が伯耆ふれあいの里に金木犀の記念植樹を行ったことから名付けました。

ことぶき学園で学んだことを活かし、年4回、旧加茂川の源流から米子港までの水質の調査しています。調査結果は中海環境フェアに出展し紹介しました。

このほか、夕暮れコンサート、オープンウォー

○●○●○●金木犀（きんもくせい）の会○●○●○●

水質の調査



中海環境フェアの出展

タースイムなどのボランティアとして中海の利活用に関わっています。

環境学習やボランティアだけでなく、鳥取、島根の名所旧跡の見学ツアーなどで会員の親睦を深め、楽しく活動しています。

会員の平均年齢は70代半ばで、現在会員の増強を行っています。興味のある方は是非事務局まで御連絡ください。

■お問合せ

事務局長 川口 昭一

電話 090-7136-4526

ロシアの子どもたちと交流

鳥取県の友好交流地域であるロシア沿岸地方から環境団体「ロストク」の青少年が8月18日から22日まで鳥取県内を視察しました。

中海体験クルージング・中海環境フェアでは、地域の環境に関する取組を学びました。

また、米子市のエコクラブの子ども達とそれぞ



中海をクルージング

○●○●○●ロシア青少年環境団



水鳥公園を見学

れの活動を発表しあい、交流を楽しみました。

米子水鳥公園では、渡り鳥が両国に深いつながりがあることに驚き、生態系や環境への理解を深めました。

■お問合せ

鳥取県観光交流局交流推進課

電話 0857-26-7240

中海のためにできることを

鳥根県では、中海に流入する河川の流域の小中学生が水環境への関心・理解を深め、中海の浄化のさらなる発展と環境学習の推進を図るため「みんなで調べる中海流入河川調査」を実施し、優秀な調査を行った学校を表彰しています。

平成28年度に知事賞を受賞した安来市立広瀬小学校では、水質調査のほかにグループ毎に水生生物、川の歴史などテーマを決めて飯梨川（富田川）や中海を調査し、壁新聞を作成しました。



ゴミを調査したグループは、人が捨てたペットボトルや空き缶が多いことがわかり、ゴミ拾いや、ゴミ捨て防止のポスターを作成して校区内に掲示するなどの取組を行いました。

この調査をきっかけに、今後も子どもたち

○●○●○●みんなで調べる中海河川流入調査



広瀬小の発表の様子

が周りにある自然に興味をもち、自然環境を守るために何ができるか学び、考え、行動することを願っています。

～表彰校～

【鳥根県知事賞】安来市立広瀬小学校

【鳥根県教育委員会教育長賞】

安来市立能義小学校

【奨励賞】

安来市立赤屋小学校、松江市立竹矢小学校

※平成28年度の参加校は小学校9校でした。

■お問合せ

鳥根県環境生活部環境政策課

電話 0852-22-6445

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所

生活環境局環境・循環推進課

〒683-0054鳥取県米子市靴町一丁目160

電話 (0859)31-9322

E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.lg.jp

Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

鳥根県環境生活部環境政策課

宍道湖・中海対策推進室

〒690-8501鳥根県松江市殿町1番地

電話 (0852)22-6445

E-mail:kankyo@pref.shimane.lg.jp

Homepage: http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。

詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページを御確認ください。